

第1回市民参加推進委員会 会議録（概要）

- 1 日 時 平成27年4月20日（月） 午前10時～正午
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎303会議室
- 3 出席委員 井原委員長、吉永副委員長、秋山委員、今村委員、
国府田委員、野路委員、森委員、山中委員、和田委員
- 4 欠席委員 上平委員
- 5 事務局 井崎市長、倉井部長、須郷課長、斉藤課長補佐、
竹之内係長、渡邊事務員、早野
- 6 協議事項
 - (1) 正・副委員長の互選について
 - (2) 諮問について
 - (3) 今後のスケジュール等について
 - (4) その他
- 7 決定したこと
 - (1) 委員長に井原委員、副委員長に吉永委員が選任された。
 - (2) 諮問について
市長より、当委員会に「市民参加をより一層推進していくため、平成26年度の流山市市民参加条例の運用に関する評価及び改善について」の諮問が提出された。
 - (3) 今後のスケジュール
平成26年度に事業が終了した（市民参加対象）事業のヒアリングを行い、評価する。
また、ヒアリングに状況等により、平成27年度に継続中の事業及び新規事業について、担当課と意見交換会を実施する。
 - (4) その他
次回以降の日程については、つぎのとおりとなった。
第2回（5月26日（火）午前10時～）
第3回（6月29日（月）午前10時～）
第4回（7月28日（火）午前10時～）
第5回（8月24日（月）午前10時～）
- 7 協議内容 別紙のとおり

(1) 正・副委員長の互選について

委嘱後初の委員会のため、須郷コミュニティ課長が仮議長となり、委員長の互選が行われた。

委員長は、委員より井原委員の推薦があり、委員長として了承された。

委員長交代後、副委員長の互選があり、委員の推薦により、吉永委員が副委員長として了承された。

(2) 諮問について

井崎市長より、市民参加推進委員会に対し、市民参加をより一層推進していくため、平成26年度の流山市市民参加条例の運用に関する評価及び改善についての諮問の提出があった。

(3) 今後のスケジュール等について

事務局より、等委員会の設置目的、諮問、資料についての説明があった。

(事務局説明)

井原委員長

平成26年度終了事業19件、継続事業8件、新規事業2件をどのように評価していくが問題である。

野路委員

5回のスケジュールのうち、実際に事業を評価できる回数を考えると、終了の19事業と継続の8事業の評価を行うのは時間的に難しいのではないか。

審議回数など変更することはできるのか。

竹之内係長

予算、報酬等のこともあるので、年5回のスケジュールでお願いしたい。事務局としては4、5回目でまとめて答申案を議会へという流れで行いたい。

国府田委員

評価する事業が多いので事務局でいくつか抽出してもらってもよいのでは。

井原委員長

抽出してということになると評価されない事業が出てしまうがその点についてどうか。

森委員

新規の事業が少ないのはどうしてなのか。年度で件数にばらつきがあるのか。

竹之内係長

平成27年度新規事業があるかどうかは各課に確認した結果2件であった。予算が2月に決まり、4月にスタートする場合もあるが、年度が進むにつれて今後増える可能性もある。

森委員

抽出して行うしかないのではないか。でないとも評価のばらつきがでてしまうのではないか。

今村委員

事業によってはヒアリングがないと資料だけの評価は難しい。

野路委員

終了事業も担当課で考えると10課なので、抽出する方法よりも課ごとにヒアリングをするほうがよいのでは。

市民参加推進委員会は終了した事業について評価することが目的なので、評価（シート）のない事業はないほうがよいのではないか。

山中委員

評価を免れる事業があるのもよくない。しかし、国で決まっているこ

となど審議する必要のない事業もあるのではないか。

和田委員

継続、新規事業については、質問をしたい課（事業）とヒアリングを行うのはどうか。

今村委員

ヒアリングは前年度に一度もヒアリングしていない課で行ったほうがよいのではないか。

野路委員

委員会目的から、事業が終了したものを評価する必要がある。

継続や新規事業のヒアリングを重視し、委員10人の意見を反映させることは、（委員会の）存在感が大きすぎてしまうのではないか。

担当課には参考意見程度に留めてもらえればよいのでは。

国府田委員

最優先は終了事業の評価を行う。気持ち的には継続、新規事業についても評価を行いたい。

野路委員

委員が事前に実施シートを参考に評価シートを作成し、事務局へ提出する。

評価シートの内容を集計した結果をもって、ヒアリングする時間を決定し、ヒアリングを行うのはどうか。

井原委員長

答申プラスアルファの審議の時間を考えると審議しきれない。回数についても予算付で考えていただきたい。

吉永副委員長

ヒアリングの最初に答申や評価シートが各担当課にとって参考になっ

たか、取り組みに反映されたかななどを答えてもらいたい。

竹之内係長

5月8日（金）までに『平成26年度終了事業一覧表』のうち、NO1～NO9（環境政策・放射対策課、企画政策課、経營業務課、健康増進課、子ども家庭課）の事業について、予定シート、実施シートを参考に評価シートを作成（評価）する。

また、合わせて質問事項を作成し、（事務局に）提出してもらおう。

提出期限は、5月22日（金）とし、事務局でとりまとめた結果を委員へ返送し、その資料を参考にヒアリングを行う。

また、時間的に余力があれば、継続、新規事業の総務課、行革の事業について評価する。

（4）その他

井原委員長

次回の審議スケジュールは、

第2回（5月26日（火）午前10時～）

第3回（6月29日（月）午前10時～）

第4回（7月28日（火）午前10時～）

第5回（8月24日（月）午前10時～）

としたい。

以上で会議を終了する。